総合計画の「小杉版」地区住民の手で策定

"地域のことは、自分たちで考え解決しよう"をスローガンにコミュニティを推進

小杉地区住みよい村づくり推進協議会（会長坂内俊夫）は、このほど、"地域のことは他人まかせでなく、みんなで考え、自らの行動によって課題を解決しよう"をスローガンとした「小杉地区コミュニティ計画」を策定しました。

このコミュニティ計画は、小杉地区が昭和五十九年度に県の「モデルコミュニティ地区」の指定をうけ、その事業の一つとして策定されたもので、小杉地区がかかえている課題を地域ぐるみで解決していくための村づくり指針で総合計画の「小杉版」といったところ。

計画によると、村づくりの重点課題は、①コミュニティづくり　②人づくり　③生活環境づくり　④健康づくり　⑤農業生産基盤づくり　⑥農業経営の確立の六項目からなり、これを更に、推進項目と推進方策を定め、これらに基づき地域で組織されているあらゆる団体（75団体）と地域住民が参加して具体的な事業をすすめていくというもの。

こうした地域住民の手づくりの「コミュニティ計画」は、村でははじめての試みで、今後の活動に村内外から深い関心が寄せられています。

地域の輪は、お祭りで最高潮に

小杉地区のコミュニティ推進事業計画

事業名	事業内容
1. 地域コミュニティづくり	1. 部落行事、分館行事等の定着化 2. 広報紙「コミュニティ小杉」の発行、村づくり標語の募集 3. 有線放送、ページングの活用 4. コミュニティ講習会、講演会の実施 5. コミュニティ指導者研修会の参加
2. 地域人づくり	1. 家庭教育学級の設置 2. 地域子供会の育成 3. 各分野における指導者先進地研修会の開催 4. 各分野の指導者の養成 5. 地域における各分野の研修会、講演会の開催
3. 生活環境づくり	1. 地域における交通安全講習会の実施 2. 火災予防、水防思想の啓蒙と防災訓練の実施 3. 冠婚葬祭等簡素化運動の推進 4. ゴミステーションの美化運動の徹底 5. 公共用地、公園等及び、個人宅地の緑化推進
4. 健康づくり	1. 地区の野球、運動会等に積極的参加 2. スポーツ、レクリエーション等指導体制の確立 3. 村の実施する検診事業に積極的参加の啓蒙 4. 料理教室、栄養改善、講習会の実施
5. 農業生産基盤づくり	1. 農協営農指導員による「米づくりは土づくりから」講習会開催 2. 嫁、むこ対策の推進 3. 分区、農家組合等農業関係団体で土地有効利用をはかりながら、農業経営の安定化を進める 4. 生産組織、協業組織等の育成をはかる
6. 農業経営の確立	1. 農地の高度利用、規模拡大をはかるため、農用地利用増進事業の促進をはかる。 2. 農作物の新規導入については積極的研究をはかる 3. 販売組織の拡大、農業後継者育成などの促進 4. 農業経営向上のための講習会、講演会に積極的参加

児童手当現況届 6月25日まで

児童手当または、児童手当の特例給付を受けている人は毎年六月一日から三十日までの間に「児童手当現況届」の提出が必要です。

現況届は、手当が受けられるかどうかを確認する大切な手続きです。この現況届を提出しないと、引き続いて受給資格があっても六月分以後の児童手当の支払を受けることが出来なくなりますので、必ず提出してください。

村では現況届の用紙を受給者に直接送付いたしますので六月二十五日まで保健福祉課に提出してください。

※六月期の児童手当を六月十日に該当者の口座に振り込みます。

小林孝文選

⑤ 〈短歌〉

北方歌人主宰　塩井三作

身上を語る酒の歌

あまり専門的な話しばかりしていてもおもしろくありませんので、存さんの酒の歌について二、三取り上げてみました。

まずこの歌です。

"家の話し　地名の話し　時過ぎて蜩鳴いて酒を流す"

この歌の意味はしごく単純です。家の話しや地名の話しをしながら時間が過ぎてひぐらしが鳴いたので酒を出すように催促した。というのですが、問題は酒を流すということです。これは話しをしていた相手がその家の奥さんに「おい、酒を出せよ」といったのではありません。存さんがそろそろ酒を出してもいいだろうと促したのです。

存さんは、話しがおもしろくなると、よく自分の方から酒を出せという人でした。

私の家に来たときもいわれました。なかなかせっかちでして、私が爛をするのに囲炉裏の鉄びんの中に銚子を入れると、入れたばっかりなのに「もういいだろう、もういいだろう」とせかせるので閉口したもんでした。

とにかく存さんは、酒が出ると人から持て成しを受けているなどという観念がなく、自分の酒のような気になってかってなことを言いながら最初の一本は置かないでついでやるとコクリ、コクリと一口で飲み干す人でした。

"みけみきはたびまず限り受くれども藪神なればじるしげもなし"

前の歌は酒を飲みはじめる時の歌ですが、この歌はいよいよ飲んで機嫌をあげ始めた歌です。

みけみきとは、御神酒のことです。たびまずは、くださるならばということです。ですからこの歌は御神酒をくださるならば、いくらでももらって飲むけれども、俺はやぶ神様だからあんたの家をお金持ちにしてやるとか、幸福にしてやるなどというききめはないんだからね。それを承知でどんどん飲まして下さいよ。という意味の歌です。

このように飲むと天下敵なしの勢いで鼻をかんだり、早口でしゃべったり、酒を飲んだりで顔をくしゃくしゃにして鼻水を飲んでいるのか、酒を飲んでいるのかわからないような、なかなか忙しい酒の飲み方をした人です。

"君帰れ　君がくれたる花ダリヤ　赤きを見れば我は眠むたし"

この歌はいよいよ酒を飲み終った時の歌です。この歌の中に酒という字はありませんが、酒を飲んだあとの歌であることは明らかです。

ただこの歌の場合、酒を飲んだのはよその家ではなく、自分の家で飲んだんです。赤いダリヤの花を持って訪ねてきたお客さんといっしょに飲んだのでしょう。そして例によって、自分だけどんどん飲んで酔っぱらったのでしょう。そこでお客さんにむかって、「あんたは帰ってもろか、俺は眠たくなったので、眠りますわい」というわけです。この辺は全く天真らん漫で、子どもと同じような無頓着ぶりで、いかにも存さんらしいところがでていた歌でしょう。

存さんは、本当に酒が好きでしたから横越の歌碑の歌をはじめとしてほかにも酒の歌が沢山あります。

そしてその酒の歌が最もよく存さんの身上を語っています。

救急車出動 これまで最高

安易な依頼も多い

村が昨年一年間、亀田消防署に救急車の出動を依頼した回数は、これまで最高の九六回となり、年々出動依頼回数が増える傾向にあります。

村の救急業務は、常備消防体制が整っていないため、亀田町に一回につき一五、〇〇〇円で委託をお願いしていますが昭和五十九年度中に支払った金額は、一四〇万円にものぼっています。

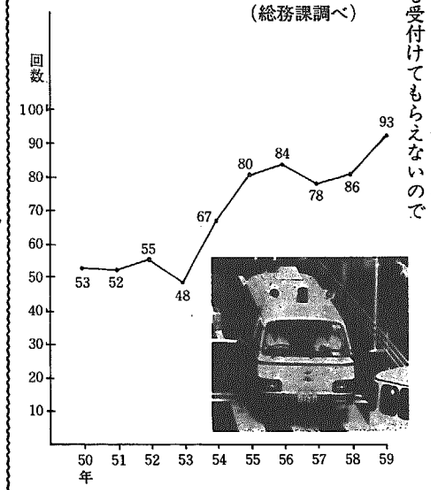
最近の傾向として、急病による救急車の出動要請が増えていますが、本当に救急車を必要としていたのか疑問と思われるケースも何件か見られます。

例えば、夜間は病院へ行っても受付けてもらえないので救急車を依頼する。救急車は輸送施設が整っているので、動けない病人には好都合で、家の人の手をわずらわせなくて済むなどです。急を要さない出動依頼に限って「サイレンを鳴らさないで来て欲しい」などの要望が多くあります。

救急車は、急を要する病人、ケガ人の輸送に利用されるべきで、安易な気持で出動依頼されますと、他に急を要する場合に迷惑となることがありますので、正しい利用を望むところです。

救急車依頼の推移

（総務課調べ）



救急車依頼の内容

（回数）

事由＼年次	50年	51年	52年	53年	54年	55年	56年	57年	58年	59年
交通	33	19	20	18	34	33	32	31	32	40
急病	9	23	23	22	24	14	20	32	42	40
一般負傷	7	8	5	8	9	33	32	15	8	7
労働災害	2	0	3	0	0	0	0	0	2	3
その他	2	2	4	0	0	0	0	0	2	3
計	53	52	55	48	67	80	84	78	86	93

雨の日は危険がいっぱい

雨の日は、ドライバー、歩行者ともに交通事故の危険性が高くなります。

ドライバーの視界がワイパーでふかれる範囲に限られたり、ガラスが曇ったりしますので、前方の確認は晴れの日に比べて難しくなります。また、路面が滑りやすくなっていますので、急ブレーキをかけてもスリップして思うように止まれません。

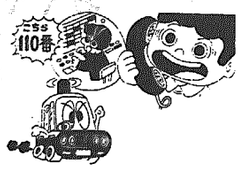
歩行者はというと、雨のときは傘などを持っていますので、動きが鈍くなったり、足元に気をとられ、車に気づかなかったりします。

ドライバーの皆さん。雨の日に歩行者のそばを通るときは、必ずスピードを落として走りましょう。また、歩行者の皆さんは、なるべく目立つ色の服装をし、無理な横断はしないようにしましょう。

速度は控えめに、車間距離は、普段の2倍の鉄則を守りましょう。

110番は、私たちの生命の電話

事件・事故を見たり聞いたりした時はすぐに110番



犯罪等の事件を早期に解決するためには、地域の皆さんの捜査に対する協力が必要です。県内の場合、昨年1年間に皆さんのご協力によって犯人を検挙した件数は、約4,000件もありました。

事件等の発生を知ったときは、すぐ110番通報を

〈正しい110番のかけ方〉

- ○何が　強盗、けんか、交通事故など
- ○いつ　何分前　○時○分～○時○分の間
- ○どこで　発生場所、近くの目標物など
- ○犯人は　人相、服装、車のナンバー・色、逃走方向など
- ○あなたは　氏名、住所、電話番号、事件・事故との関係

新潟南警察署